

平城宮跡資料館 展示紹介「第一次大極殿院の模型」

平城宮跡資料館では、奈良文化財研究所がおこなった調査で出土した遺物や建物の復原模型を展示し、平城宮跡の歴史や発掘調査の過程、平城宮内にあった役所や宮殿の内部、当時の役人の仕事の様子等を紹介しています。

官衙復原展示コーナーには、第一次大極殿院の100分の1模型を展示しています。この模型は1993年に、第一次大極殿復原研究の過程で作成されました。現在も発掘調査や文献史料の検討を続けており、復原された大極殿は二重基壇で、正面の階段は一つであること等、異なる点がみられます。また現在検討を進めている南門やその東西楼についても最新案では、南門は重層、寄棟造りとなっています。さらに、大極殿の手前の7本の幢幡（儀式用の旗）についても、少なくともこの位置にないことが近年の発掘調査によって判明しています。

復原事業情報館には200分の1模型が展示されていますので、ぜひ見比べて、研究の進展と復原の難しさを感じ取っていただければ幸いです。

(企画調整部 三輪 仁美)



常設展示
第一次大極殿院1/100模型

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2016年12月